

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2021年10月～12月期

第103回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和3年7月～9月比
 - (2)前年同期比 令和2年10月～12月比
 - (3)来期見通し 令和4年1月～3月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	131社
回答率	26.2%

(業種別)

製造業	39社
建設業	30社
卸売業	9社
小売業	23社
サービス業	30社
合計	131社

(2) 調査対象月

2021年10月～12月期

(3) 調査依頼期間

2021年12月24日(金) ～ 2022年1月14日(金)

(4) 調査内容

調査対象の第3四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

(5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

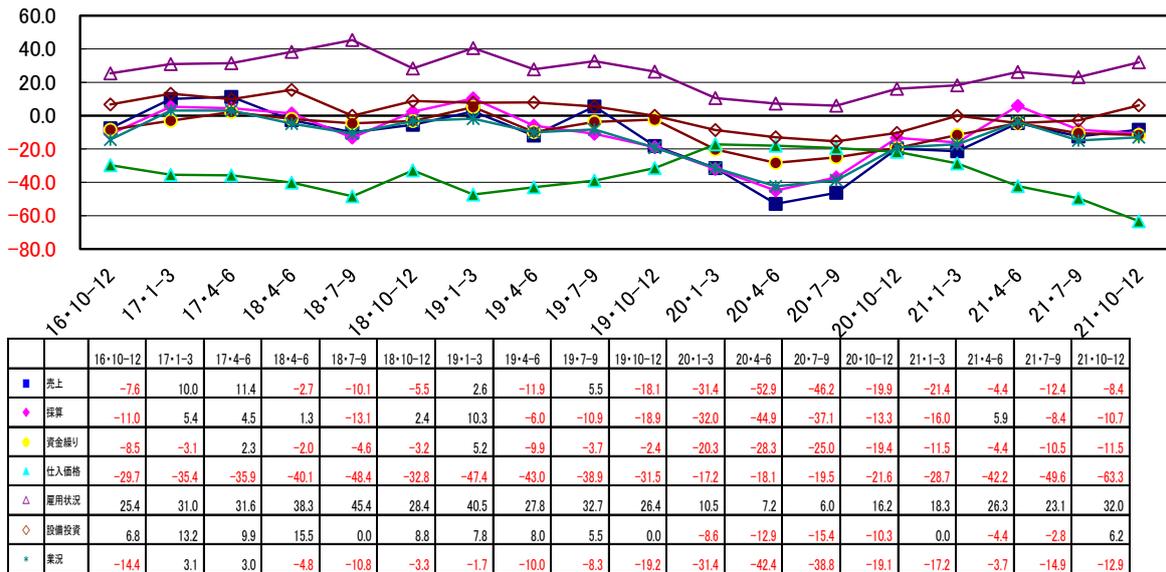
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味します。

売上DI	= (増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)		
採算DI	= (好転	〃) — (悪化	〃)
資金繰りDI	= (好転	〃) — (悪化	〃)
仕入価格DI	= (下落	〃) — (上昇	〃)
雇用状況DI	= (不足	〃) — (過剰	〃)
設備投資DI	= (拡大	〃) — (減少	〃)
業況DI	= (好転	〃) — (悪化	〃)

2. 調査結果(DI)

前年同期比(全企業DIの6か年の推移)



3. 概況

緊急事態宣言解除後の経済動向

(1) 今期の特徴

今期は、10月1日に緊急事態宣言が解除され、県内の警報レベルも11月3日にはレベル0となり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着き、年末年始に向けての経済活動が活発となった。どの業種においても、売上増加がみられたものの、コロナ前までの回復とはいかなかった。

(2) 来期の見通し

来期の見通しについては、新型コロナウイルス感染症の新しい株であるオミクロン株の感染拡大を懸念するコメントや仕入価格の上昇による利益減少を懸念するコメントがみられた。

(3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の不足」、4位「熟練技術者(従業者)の不足」、5位「人件費の増加」という結果になった。

(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「新製品の開発を行いたい」という結果になった。

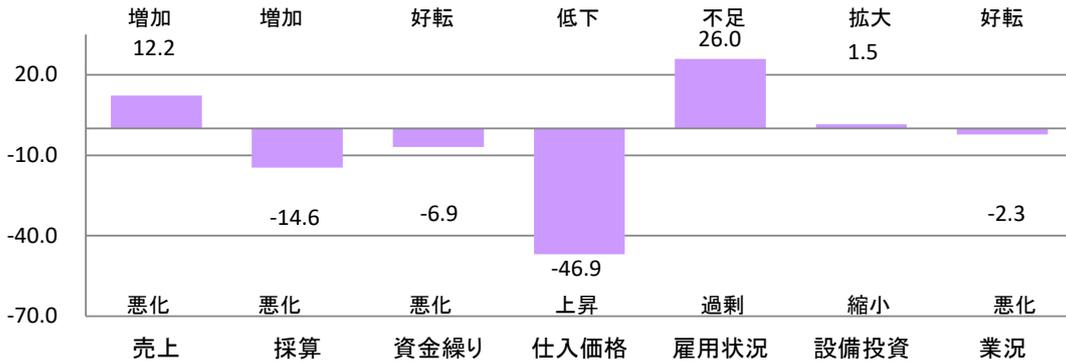
(5) 総括・分析

緊急事態宣言が出ていた前期と比較すると、全業種において売上DIは増加の数値を示したが、前年同期と比較すると、仕入価格の高騰や半導体不足、リベンジ消費の落ち着き等の影響で売上DIはマイナスの数値を示す結果となった。

来期の見通しとしては、回復傾向である経済活動を期待するコメントがある一方、オミクロン株に対する経済活動への影響を懸念するコメントもみられた。

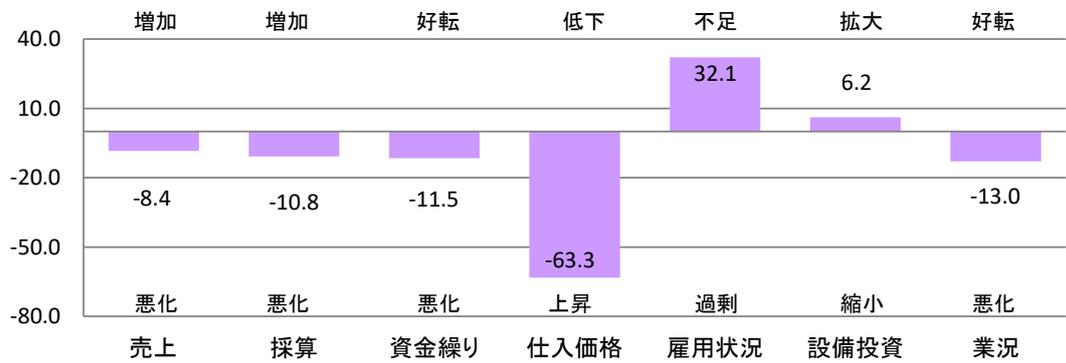
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比 令和3年7月～9月比



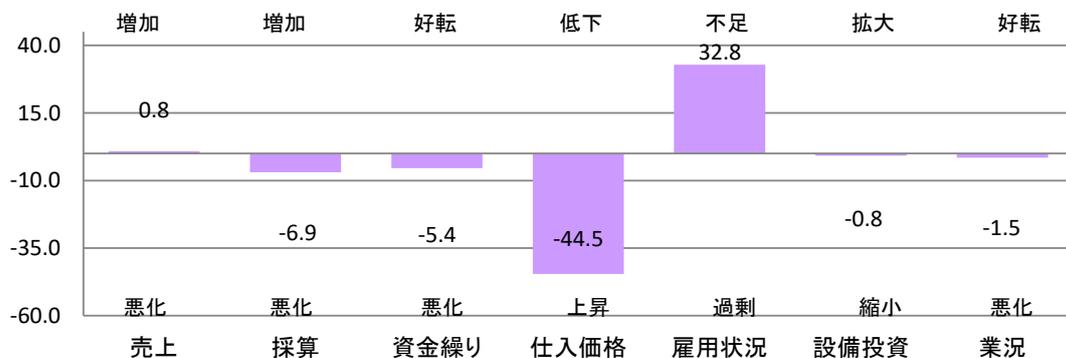
前期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が全国的にも落ちついたため、すべての業種において売上DIが0またはプラスを示す結果となった。一方、原材料等の仕入価格の高騰により、売上に対する利益が減少したとのコメントがみられた。

前年同期比 令和2年10月～12月比



前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。今期は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が前年同期と比べると落ち着いているが、仕入価格の高騰や半導体不足、リベンジ消費の落ち着き等の影響により、業況好転とまでは至らなかった。

来期見通し 令和4年1月～3月見通し

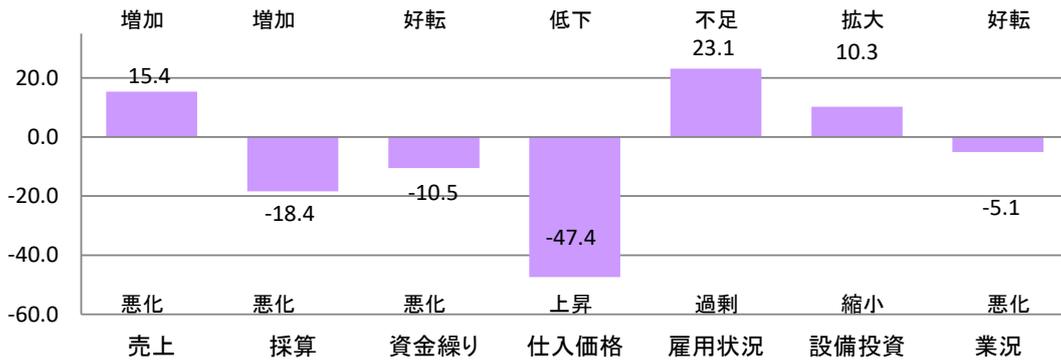


来期の見通しは、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念するコメントは継続して多くみられ、オミクロン株による経済への影響に対するコメントも多くみられた。

5. 業種別の景気動向

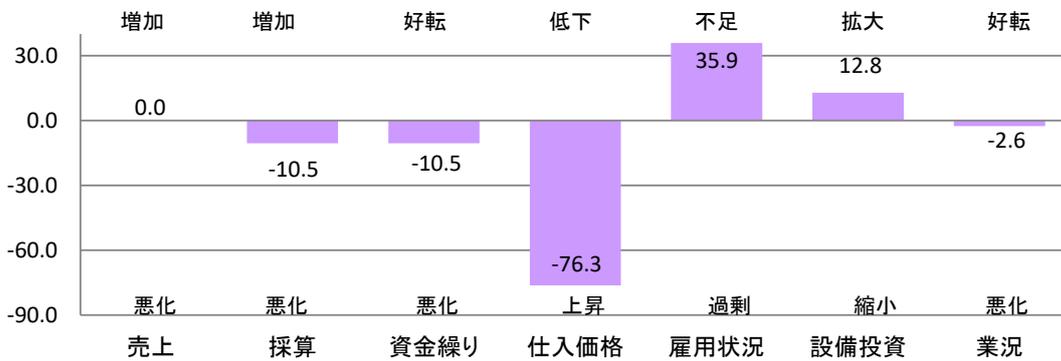
(1) 製造業

前期比 令和3年7月～9月比



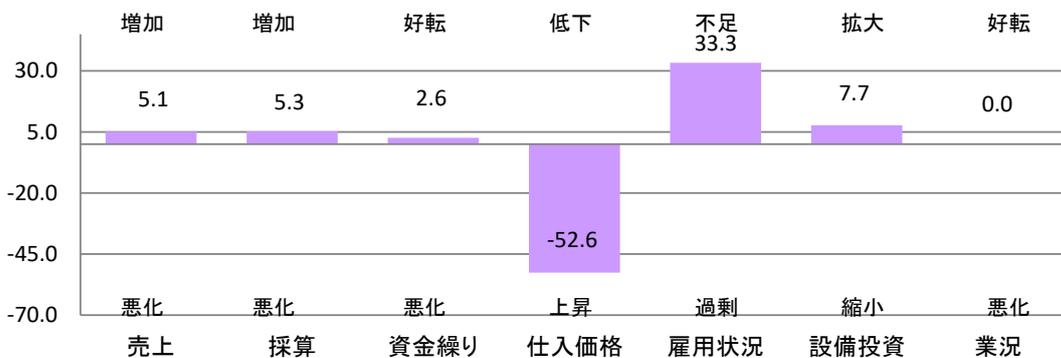
前期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響は続くものの、感染者数減少に伴い、受注が増加したとのコメントがみられた。しかし、売上が増加するものの原材料の価格上昇により経常利益が減少したとのコメントもみられた。

前年同期比 令和2年10月～12月比



前年同期と比較すると、売上DIは0、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。一部の製材業ではウッドショックによる製品単価の上昇により売上・利益が上昇したとのコメントがみられた。また、新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつあるが、消費の停滞を感じるとのコメントもみられる。

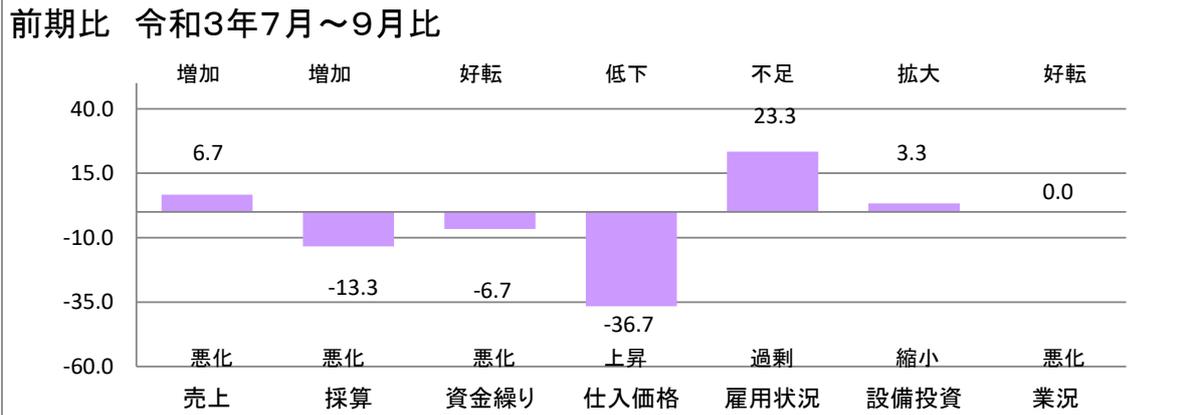
来期見通し 令和4年1月～3月見通し



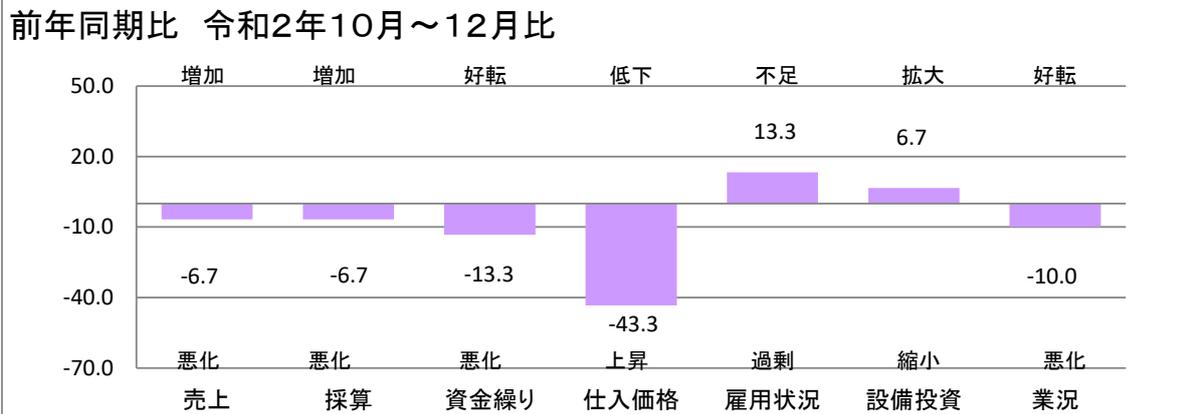
来期の見通しは、雇用状況DIは不足、仕入価格DIはマイナスの数値を示すものの、その他の項目はプラスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことにより、受注の増加やイベントなどの開催を期待するコメントがみられた。しかし、原材料の高騰で厳しい状況が続くとのコメントもみられた。

5. 業種別の景気動向

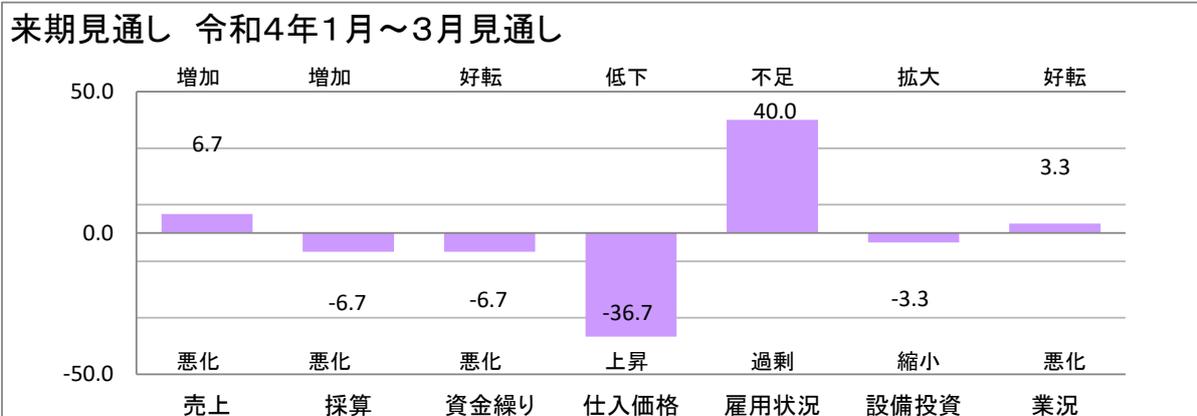
(2) 建設業



前期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。受注状況により業況が好転したとのコメントがみられるなか、資材の高騰、半導体の不足による納期の遅れが発生しているとのコメントもみられた。



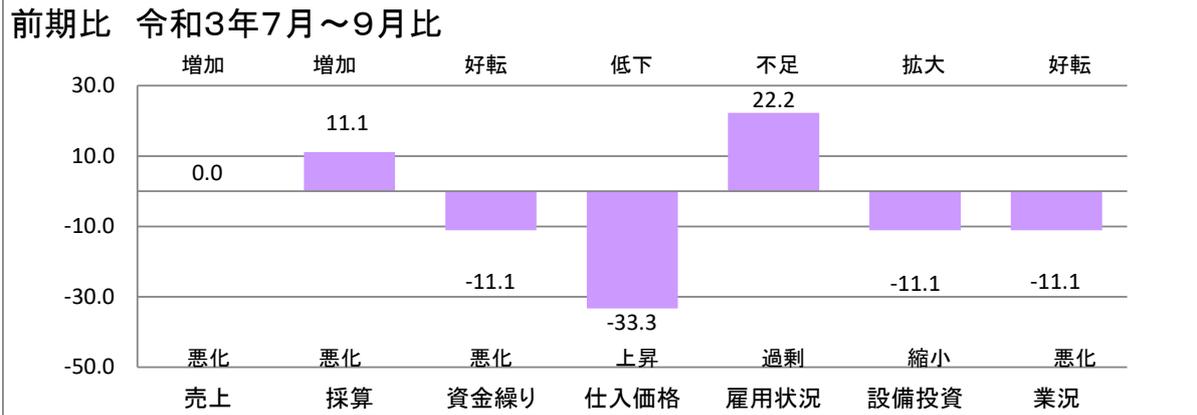
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。公共・民間ともに受注があったとのコメントがみられるなか、前年と同様の受注状況であったとのコメントもみられた。



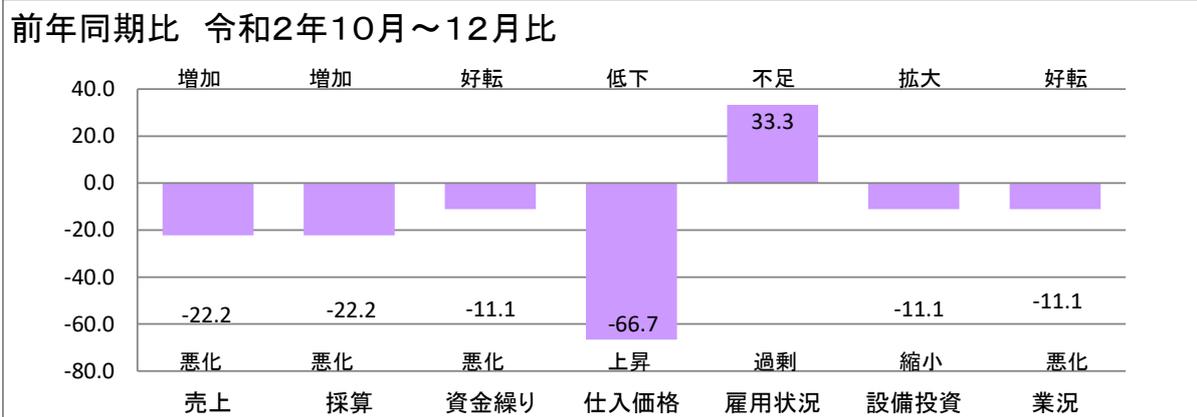
来期の見通しは、売上DIは増加、業況DIは好転、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により資材の高騰、半導体不足等が発生しており、納期の遅れや見通し不明とのコメントがみられた。

5. 業種別の景気動向

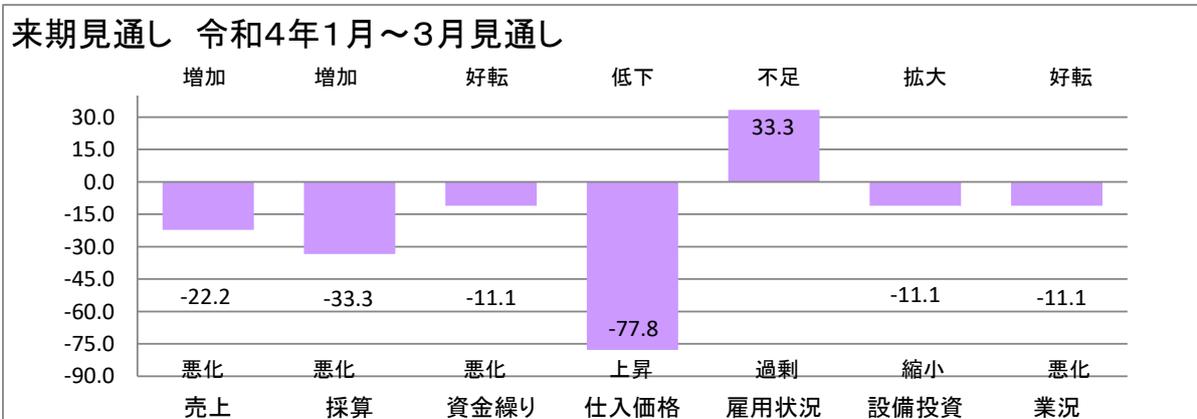
(3) 卸売業



前年と比較すると、採算DIは増加、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。一部の卸売業では、緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルス感染症の感染者も減少したことを受け、飲食店への客足が戻ったことにより、業況が好転したとのコメントがみられた。



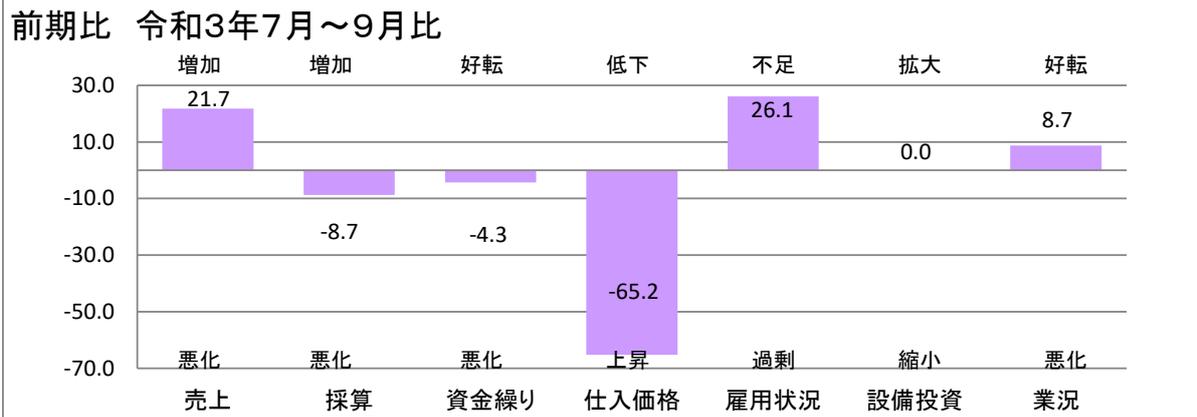
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。前年は新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加している時期であったため、感染者数が落ち着いている今期は業況が好転したとのコメントがみられた。しかし、消費の冷え込みの回復はみられないとのコメントもみられた。



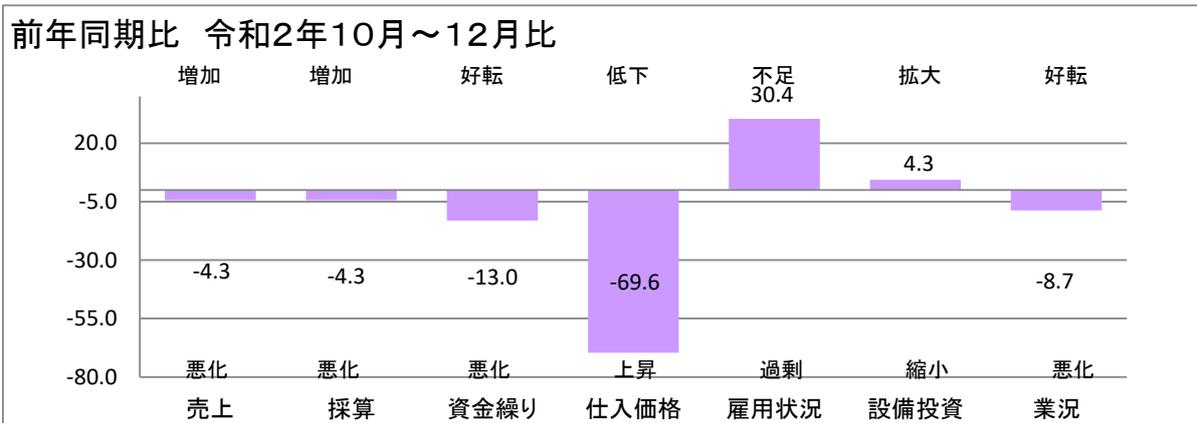
来期の見通しは、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の出現により、業況が悪化するのではないかと予想するコメントがみられた。また、原材料の高騰、資源不足のため、商品の確保が厳しい状況になっているとのコメントもみられた。

5. 業種別の景気動向

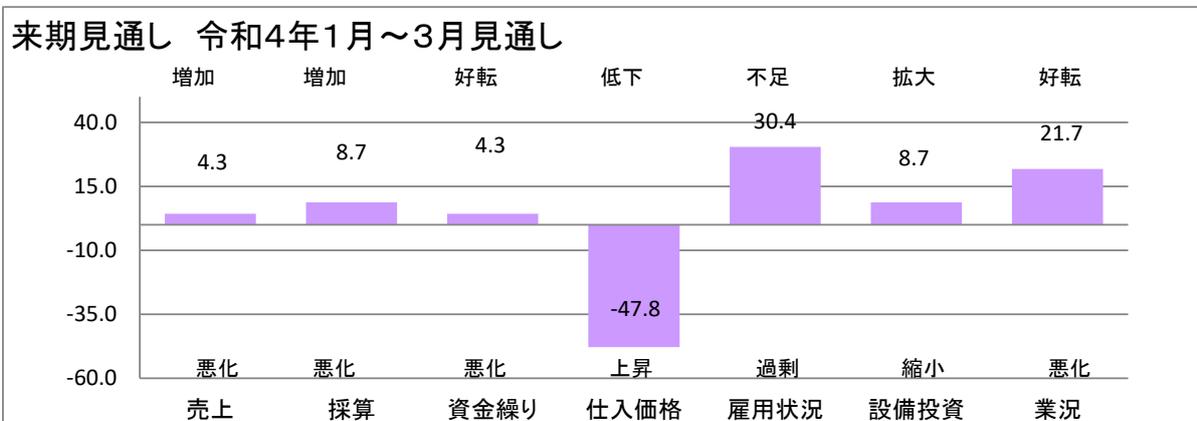
(4) 小売業



前期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、業況DIは好転、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。一部の燃料関係の業種では、季節的要因により需要が増加し業況が好転したというコメントがみられた。一方で、原材料の高騰や半導体不足で売上が減少したとのコメントがみられた。



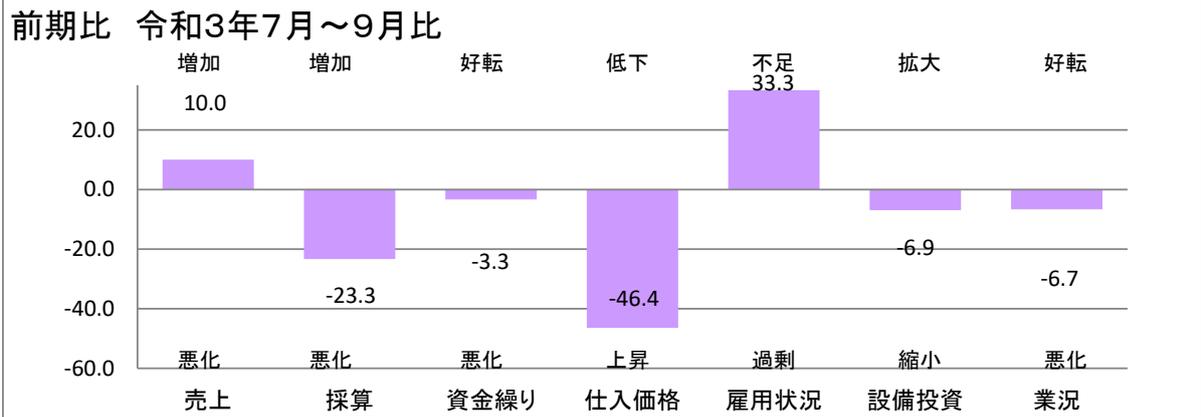
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。一部の衣服小売業においては、緊急事態宣言が解除され、子ども家庭に給付金が支給されたことで売上が増加したとのコメントがみられた。一方、原材料・ガス仕入価格の高騰、半導体不足による商品の入荷待ちなどにより業況が悪化したとのコメントがみられた。



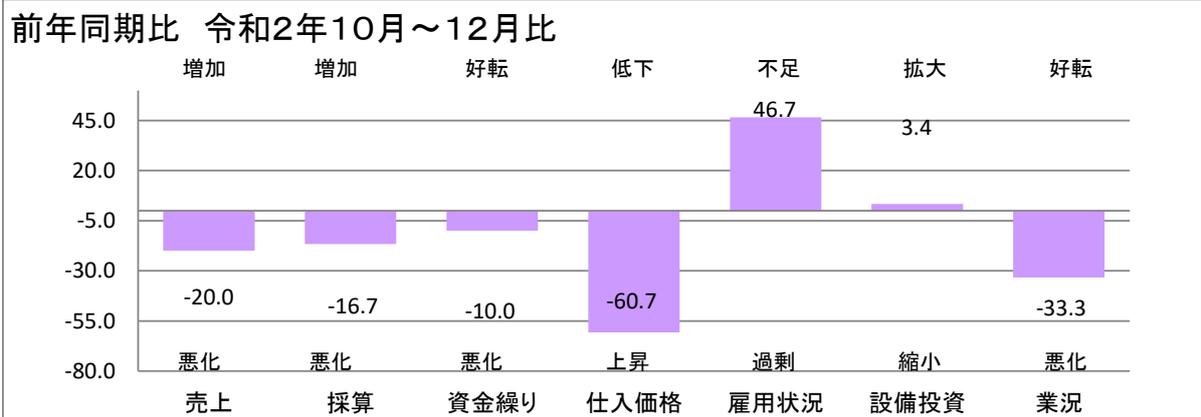
来期の見通しは、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことによるイベントの再開により業況は好転すると期待するコメントが見られてが、オミクロン株の感染拡大を不安視するコメントが多くみられた。

5. 業種別の景気動向

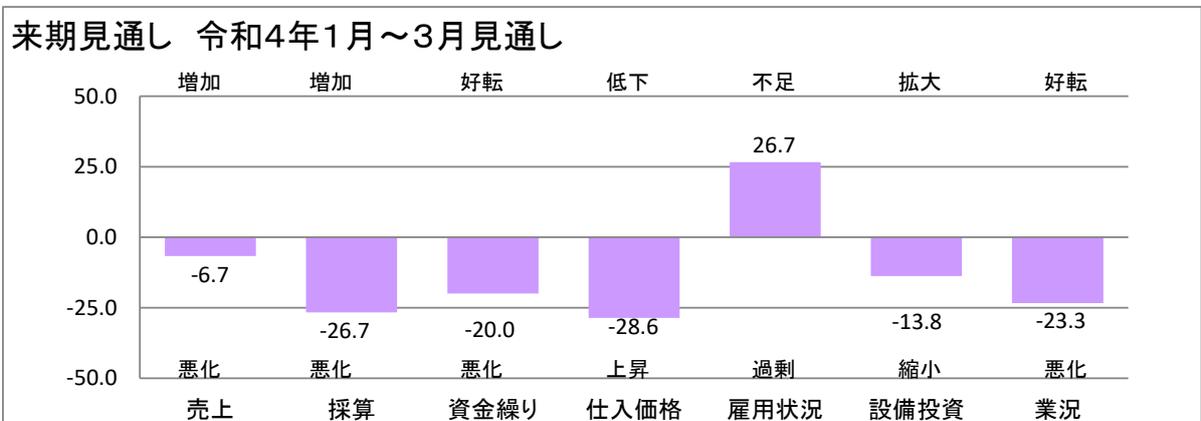
(5) サービス業



前期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことによる宿泊業では「ジモミヤタビ」「ジモミヤラブ」「泊得キャンペーン」等による客数の増加で売上が増加したとのコメントがみられた。一方、一部の美容業とタクシー業では、客数は回復傾向であるが、コロナ前までには至らないというコメントがみられた。



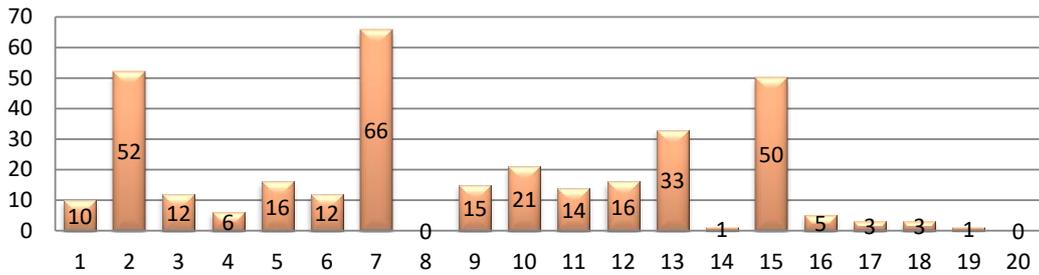
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着いたことによる客数の増加はあるものの、団体が少なく個人が増加したため売上が伸びないというコメントがみられた。



来期の見通しは、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を不安視するコメントが多くみられ、これからの成人式や卒業式などの行事の開催への影響を懸念するコメントがみられた。一部の宿泊業においては、キャンペーン等が今後実施がないと予想し、業況が悪化するのではないかとコメントがみられた。

6. 経営上の問題点

全業種



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

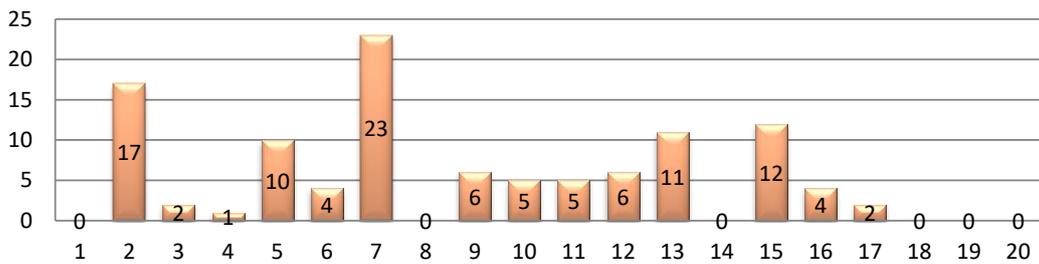
4位 熟練技術者(従業者)の不足

2位 需要の停滞

5位 人件費の増加

3位 従業員の不足

製造業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

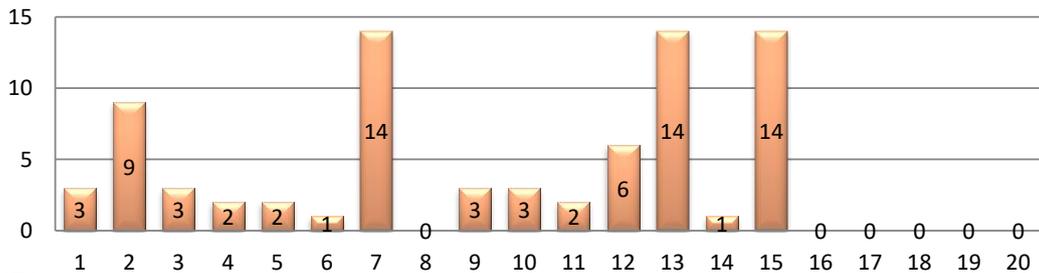
4位 熟練技術者(従業者)の不足

2位 需要の停滞

5位 生産設備の不足・老朽化

3位 従業員の不足

建設業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

4位 需要の停滞

1位 熟練技術者(従業者)の不足

5位 原材料の不足

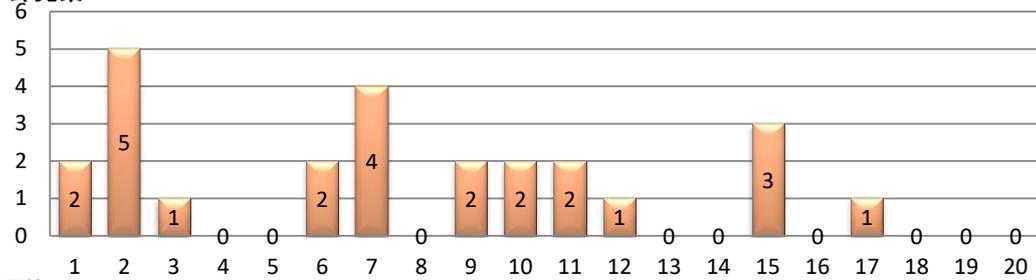
1位 従業員の不足

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

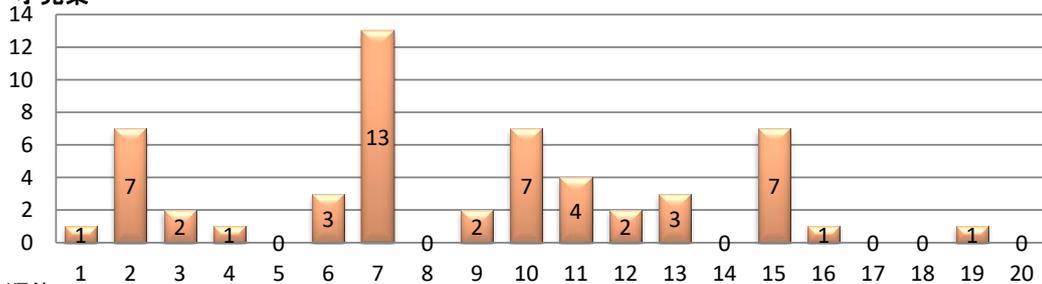
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 従業員の不足
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品ニーズの変化
- 4位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 4位 人件費の増加
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難

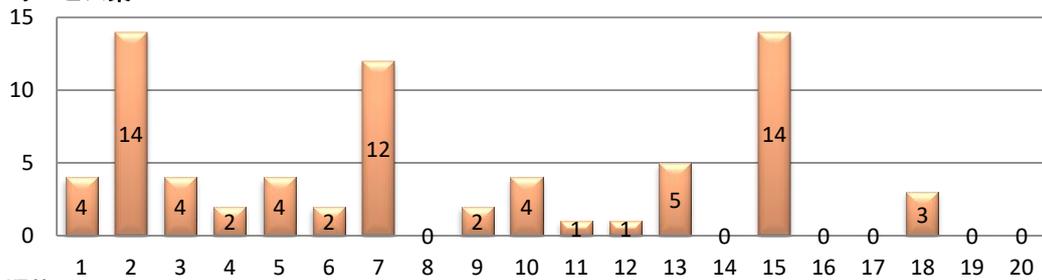
小売業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 従業員の不足
- 2位 需要の停滞
- 2位 人件費の増加
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

サービス業



順位

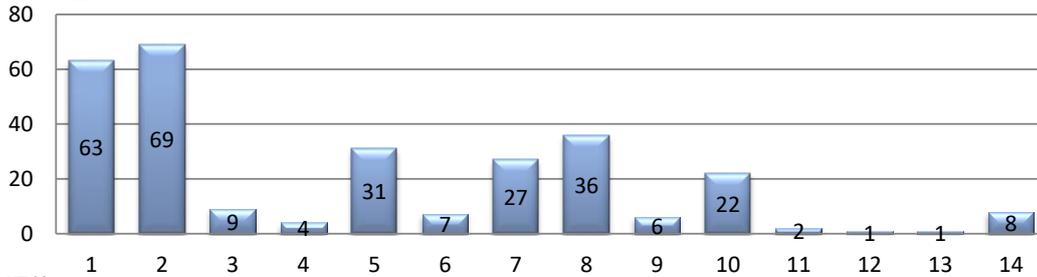
- 1位 需要の停滞
- 1位 従業員の不足
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

全業種

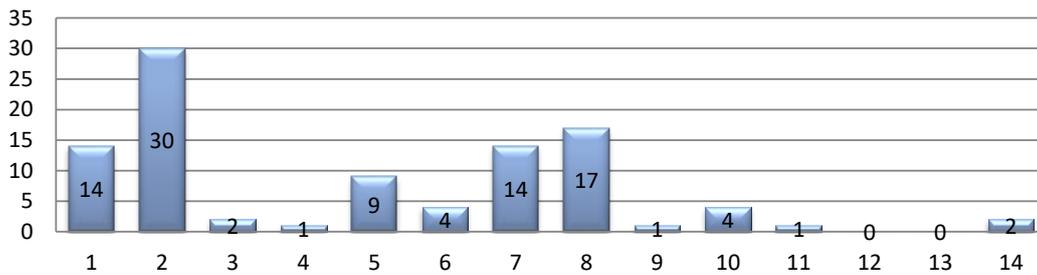


順位

1位 生産性を向上させたい
2位 従業員を新規雇用したい
3位 新規市場を開拓したい

4位 その他の合理化を実施したい
5位 新製品の開発を行いたい

製造業

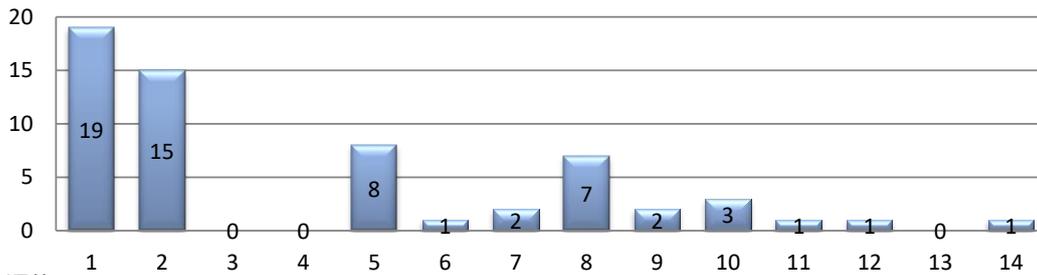


順位

1位 生産性を向上させたい
2位 新規市場を開拓したい
3位 従業員を新規雇用したい

3位 新製品の開発を行いたい
5位 その他の合理化を実施したい

建設業



順位

1位 従業員を新規雇用したい
2位 生産性を向上させたい
3位 その他の合理化を実施したい

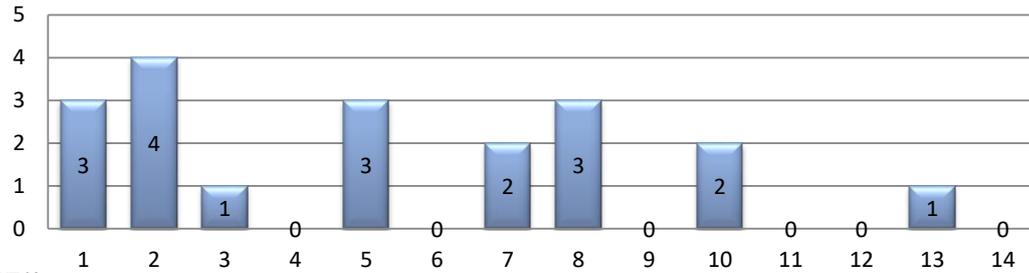
3位 新規市場を開拓したい
5位 経営の多角化を行いたい

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

7. 今後の対応策

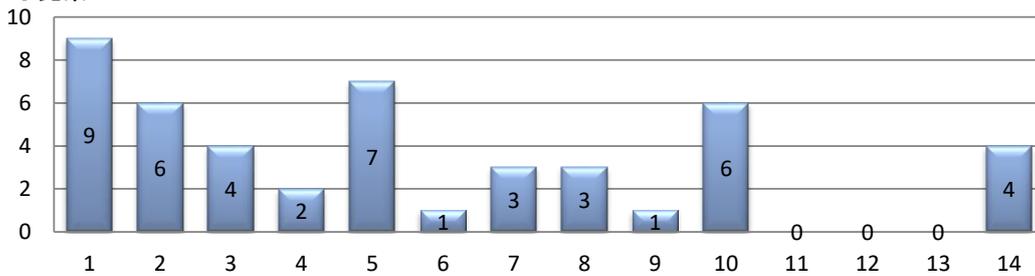
卸売業



順位

- | | |
|------------------|----------------|
| 1位 生産性を向上させたい | 2位 新規市場を開拓したい |
| 2位 従業員を新規雇用したい | 5位 新製品の開発を行いたい |
| 2位 その他の合理化を実施したい | 5位 経営の多角化を行いたい |

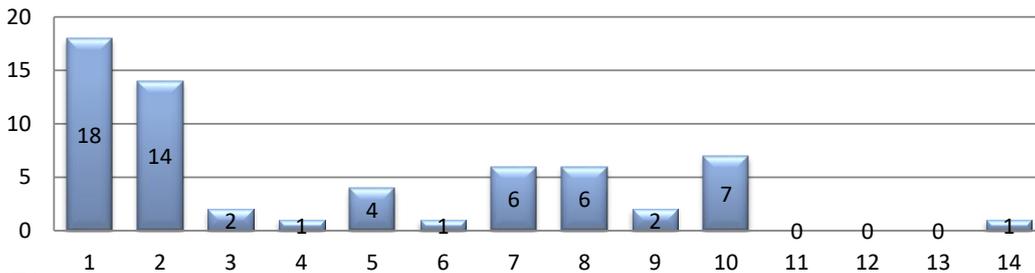
小売業



順位

- | | |
|------------------|----------------|
| 1位 従業員を新規雇用したい | 3位 経営の多角化を行いたい |
| 2位 その他の合理化を実施したい | 5位 人件費を削減したい |
| 3位 生産性を向上させたい | 5位 その他 |

サービス業



順位

- | | |
|----------------|----------------|
| 1位 従業員を新規雇用したい | 4位 新製品の開発を行いたい |
| 2位 生産性を向上させたい | 5位 新規市場を開拓したい |
| 3位 経営の多角化を行いたい | |

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	現在の景気対策は、どのような効果があったのか。自助努力をしている業界について、どのくらい認識されているか。
製造業	焼酎製造業	小林	コロナ禍が落ちついた際の販売開拓、営業活動の支援策を引き続きお願いしたい。
製造業	電気機械器具製造業	延岡	新型コロナウイルスの影響により、ますます原材料の納期遅延が増加している。この状況が続くと当社の生産活動にも影響が及ぶのが必至である。大企業に対して柔軟な納期対応が可能となるよう働きかけをお願いしたい。
製造業	製材業	都城	法人税等の減税や設備投資の補助金、固定資産税の減免等特に中小企業への支援を強化してほしい。
製造業	服飾製造・卸小売	日南	飲食・旅行業界以外への厚い保障等があると良い。
製造業	コンクリート製品	日南	資材高騰の対策。

製造業	自動車金属部品製造	日南	補助金を充実してほしい。 補助金のハードルを下げしてほしい。
小売業	石油小売	小林	一貫性を持って効果的な対策を解り易い方法で行なっていただきたい。
小売業	事務機、事務用品販売	小林	国・県の物品調達は所在地域での調達を徹底してもらいたい。
小売業	小売酒販店	日南	コロナの収束を願いたい。
小売業	記念品販売	小林	前の第3四半期と同じく介護報酬(国負担)の見直しを検討してもらいたい(経験者の人材確保にも繋がる為にも)。
小売業	農水産物直売所	日南	人不足、人口減少のためには無人レジとか取り組むのがいいかと思ってきた。
建設業	電気工事、電気通信工事	宮崎	<ul style="list-style-type: none"> ・材料、製品の納品遅れが激しい。 ・材料費の高騰が一段と目につく。 ・いわゆる「賃上げ税制改革」について、賞与を含む総年収ベースでの比較をされると、決算が良くても賞与で還元する気にならない。賞与は利益還元であり、税制で賃上げのモチベーションを高める政策を行うのであれば、その対象は月々の基準内給与のみを対象とすべきと思われる。

建設業	建設業	串間	大手家電店や家具屋等の(新築・リフォーム進出)が建設業界を逼迫させている。中小企業の倒産に拍車をかけていると思う。
建設業	塗装業	延岡	技能実習生の時給相場が年々増加しており、都会へ移籍していくことが多くなってきた。何か補助する制度があると助かる。
建設業	建設業、不動産売買・賃貸・仲介・管理業	宮崎	景気は自助努力でどうにかなるが、赤字国債をこれ以上発行しないでほしい。大企業の社長と同じで、自分がトップの時よければよいが大変困る。
建設業	電気工事	延岡	コロナ禍にありまして、じわじわと県内にも新規感染者の広がりが報道されることが大変気になっている。感染予防策をもっと丁寧に細かく実施するように努め自社の作業員を始めとして、現場での感染者を出さないように厳重に努めたいと考える。
建設業	再廃処理運搬	都城	人材不足特に若者の県外への流出に危機を感じている。
建設業	生コン製造、建設業	宮崎	生産性向上、合理化を実現するため、業務のスリム化、クラウドツールの活用など、様々な対策を続けている。これにより、業務の本質や、付加価値に注力できかつ人手に頼らない業務遂行を目指している。そのためには、法規制の緩和やデジタルシフトをより加速させ、シンプルでスマートな仕組みづくりを展開して頂きたい。
建設業	木製家具、建具工事、内装工事、木工工事、建築一式工事	宮崎	宮崎国体関係の受注に対しての営業が今年早々から始まるが、見積提出時期と現在の資材単価の開きが大きく交渉が厳しくなる状況。行政には物価高騰に対する調査を早急に行っていただきたい。

建設業	空調機器販売、修理	日南	今のお客様を大切にコツコツとやっていく。
建設業	建設工事業	日南	資材価格の上昇および商品不足により受注や工期に影響をうけている。
建設業	土木建設業	日南	全体的にまだコロナの影響が考えられるので、先ずはその対策に全力を尽くして頂きたい。
卸売業	業務用製品卸	日向	正月が明けた後も、感染拡大がみられない場合は県独自のGOTOシリーズも再度大々的にやって頂きたい。現在、コロナ感染は落ち着いているものの、市場の活気はまだまだコロナ以前の消費力には劣り、消費を促す仕組みを考案実施して頂きたい。
サービス業	美容業	西都	コロナ禍での売上げ影響が、これからもあると思いますが、コロナ対策と…売上減少対策が早目になればと思う。
サービス業	産廃物処理業	小林	コロナ禍において原材料が不足し始め、今後仕入を計画通りに行えるか不安。また、全ての原材料、サービス等が値上しているため、当社も現状のままでは利益が減少すると考えている。
サービス業	不動産管理	日南	コロナの感染拡大を防止しながら経済を回してもらいたい、個人の消費拡大の施策を実施してもらいたい。

サービス業	理美容業	西都	設備にしても、農業は補助金を半分出している。商人はなかなか政治から冷遇されている。これでは個人商店はやっていけない全てが大型店だけになる。
-------	------	----	---